

議員研修

11/20 県市議会議長会研修

11/21 ILC議連総会・研修会

12/12 DX研修会



県内の市議会議員が一堂に会し研修

岩手県市議会議長会は、11月20日、令和6年度岩手県市議会議員研修会を開催しました。

盛岡グランドホテルを会場に、県内14市の市議会議員約300人が参加しました。

研修は、第一部に「異彩を放て」と題し、松田文登氏（株式会社ハルボニー代表取締役CEO）が、第一部に「日本政治の舞台裏」と題し、田崎史郎氏（政治

県市議会議長会研修



ILC誘致の現状を学ぶ

ジャーナリスト）が講演を行いました。

11月21日、気仙地区議会ILC誘致推進議員連盟は大船渡市シーパル大船渡にて総会を開催。

気仙二市一町の議会議員が結集し、国際リニアコライダーの北上山地への誘致を推し進めるという目的を改めて確認し、本年度の事業・決算報告、次年度の事業計画・予算案を承認しました。

総会終了後、「ILC日本誘致の早期実現と地域からの開国」と題し、岩手県立大

ILC議連総会・研修会

DX研修会

市政調査会は12月12日、市役所庁内で「陸前高田の未来を創るデジタル変革（DX）」をテーマに議員研修会を開催しました。

議員連盟として何ができるのか。ILC実現後の社会貢献の大きさを改めて研修し、誘致に向けた動きを再加速化すべきと実感しました。

学鈴木厚人学長が講演し、誘致に係る国際情勢と準備態勢を詳しく説明しました。

現状では、政府関係者及び有識者の間では時期尚早とされ、世界との温度差が否めず、準備研究所の段階にすら移行できないとのこと。

また、実現のためには、本年度いっぱい最後の機会と捉え、諦めずに日本政府や有識者に進言し、働きかけをすることで事態の好転を図り、関連する自治体・市民・議員のさらなる協力が必須であると締めくくりました。

講師は本市DXアドバイザーの陳内裕樹氏で、オンライン形式で実施されました。タイトルの「d」が小文字なのは、デジタルそのものより「変革」が重要であるという意図が込められているためです。

研修では、変わることの難しさや重要性に触れ、デジタル技術を活用しつつ、一人ひとりが積極的に取り組む姿勢や人と人とのつながりの大切さが強調されました。



鹿児島滞在中の講師と結び研修



擬似選挙ポスター完成



写真で伝える議会活動

当日は、市議会活動の様子を紹介する写真の展示及び動画の上映、市議会だよりのバックナンバーの展示も行いました。

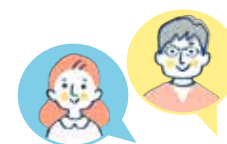
また、主権者教育の一環として子どもたちが興味を持つように「明日の陸前高田市議会議員候補者」の文言と子どもの名前が入った疑似選挙ポスターを渡しました。はじめは恥ずかしがっていた子どもたちもカメラを向けるとポーズをとり、笑顔を見せました。ポスターの裏に印刷された投票行動の啓発メッ

セージとあわせ、この企画が主権者教育の一助となりえたと感じました。

あいにく初日は雨で出足が悪かったものの、2日目は順番待ちになるほど、多くの親子に好評でした。議会として来年以降も楽しい企画を交え、議会への関心を持っていただける取り組みを工夫してまいります。



ポスター用写真の撮影。力強くポーズ



議会と語る会

オンライン活用で 広く市民の声を



画面越しにオンラインで意見交換

広聴広報特別委員会は、本市議会で初となるオンラインによる議会と語る会を11月15日に開催しました。

本年度の議会と語る会は、ワークショップを導入するなど市民の多様な意見を取り入れるため、さまざまな試みを行っており、オンラインによる開催もその一環です。

今回は、市役所と下和野団地、中田団地を中継で結び、市内や仙台からも参加者がありました。

アンケートによると満足度は対面実施と比べても遜色なく、参加者からは「継続的に続けてほしい」との声もありました。

場所を選ばず参加できるオンラインを活用した語る会の可能性を実感しています。



令和6年度 陸前高田市産業まつり 陸前高田市議会ブース開設